

都市再生整備計画 事後評価シート
曽根地区

平成25年3月

福岡県北九州市

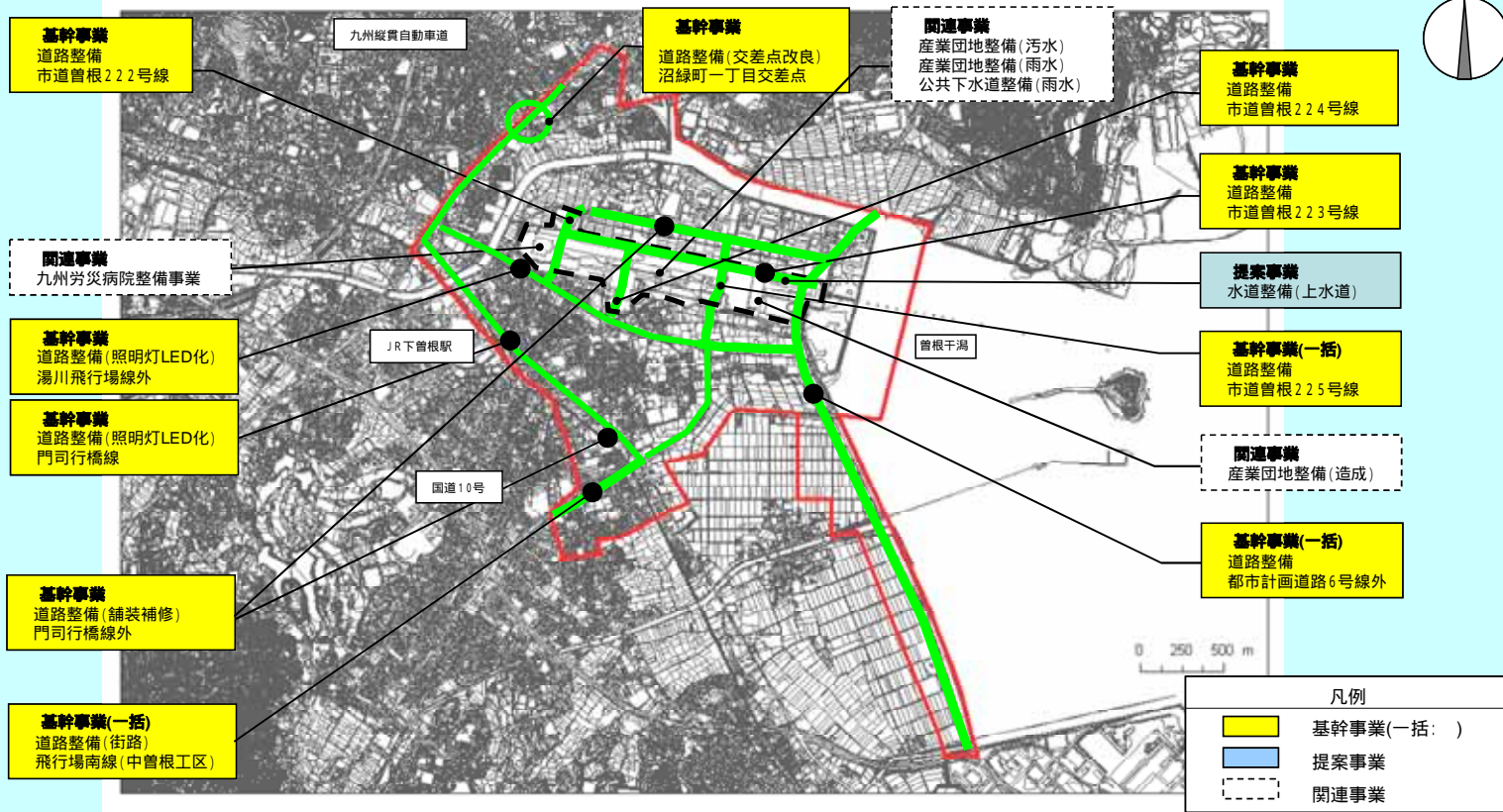
様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	北九州市	地区名	曽根地区		面積	550ha			
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	1,582.1百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路: 曽根223号線、曽根224号線、曽根225号線、沼緑町一丁目交差点、寺迫口北交差点、中曽根新町南交差点								
			提案事業	地域創造支援事業: 水道整備(下水道)								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	道路: 寺迫口北交差点、中曽根新町南交差点		削除/追加の理由		用地交渉が難航し、期間内の完了が困難になったため削除した				
			提案事業					指標、数値目標への影響は間接的であり少ないため、指標及び数値目標は据え置く				
	新たに追加した事業		基幹事業	道路: 曽根222号線、都市計画道路6号線外、飛行場南線、県道(主要地方道)門司行橋線、曽根下曽根1号線、湯川飛行場線、中曽根東7号線		交通ネットワーク強化や交通安全性向上により、土地利用の促進を図るため		事業を追加することで、目標達成にプラスの影響があるため、指標4の数値目標を変更した				
提案事業												
交付期間の変更		当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	JR下曽根駅の乗降客数	人/日	11,634	H18	12,125	H24	12,157		あり なし	空港移転跡地及び周辺の道路等の基盤が整備されたことにより、医療関係施設や大学学部校舎等の立地が進み、空港移転跡地への来街者が増加したことから、目標を達成した。	平成25年7月
	指標2	雇用創出	人	0	H19	900	H24	110		あり なし	近年の全国的な経済情勢等により、目標を達成することはできなかったが、立地を表明した企業が複数あることから、今後雇用者数の増加が見込まれる。	平成25年4月
	指標3	環境施設面積	m ²	45,494	H19	56,800	H24	53,394		あり なし	緑の軸線部分の道路整備等の進捗により、目標を達成することはできなかったが、面積は着実に増加しており、周辺環境に調和した都市空間の形成は進んでいる。	平成25年4月
指標4	道路整備率	%	7.0	H19	8.0	H24	8.0		あり なし	空港移転跡地内及び周辺の道路整備が進捗したことにより、目標を達成した。交差点改良等も進んだことから、交通ネットワークの強化や交通安全性の向上が図られた。	平成25年4月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度 ¹⁾	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	昼間人口	人	0	H19	/	/	1,800	/	/	自動車関連企業や医療関係施設、大学学部校舎等の立地により、昼間人口が増加するなど空港移転跡地の注目度が増したことから、今後の企業誘致活動への好影響を期待できる。	平成25年4月
その他の数値指標2	緑地面積	m ²	0	H19	/	/	15,343	/	/	立地した企業、病院等の敷地に新たな緑地が整備されたことから、憩いの空間や周辺環境に調和した都市空間の形成が進んでいる。	平成25年4月	
4) 定性的な効果発現状況	総合病院や大学学部校舎等の立地によって、昼間人口が増えるなど街全体が活性化され、注目度が増したことから、今後の企業誘致活動への好影響を期待できる。											
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし					
	住民参加プロセス	曽根東まちづくり協議会への情報提供(事業進捗状況等)等	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も必要に応じ地元住民への情報提供や意見交換を行う					
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし					

様式2-2 地区の概要

曽根(福岡県北九州市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 地域経済の浮揚や人口増加に繋がる自動車関連産業等を中心とした新産業拠点の形成を図るとともに、健康で充実した生活を営むための医療・福祉を核とした土地利用の促進や曽根干潟の良好な環境との調和を図るなど、新都市開発拠点として魅力的なまちづくりを行う。 目標1: 九州労災病院をはじめとする医療・福祉機能に加え、生活利便施設等、暮らしに役立つ機能の導入を図りながら、良好なまちづくりを行う。 目標2: 地域経済の浮揚や雇用創出等、地域への波及効果の高い自動車関連産業を中心とした新産業拠点の形成を図る。 目標3: 曽根干潟と産業団地との緩衝機能や市民の憩いの空間としての緑地等の整備、また、空港移転跡地のシンボリックな存在となる周辺環境に調和した都市空間の形成を図る。 目標4: 土地利用を促進するために、道路等の整備改善による交通ネットワークの強化や交通安全性の向上など、交通体系の充実を図る。	JR下曽根駅の乗降客数	単位: 人/日	11,634 H18	12,125 H24	12,157 H24
	雇用創出	単位: 人	0 H19	900 H24	110 H24
	環境施設面積	単位: m ²	45,494 H19	56,800 H24	53,394 H24
	道路整備率	単位: %	7.0 H19	8.0 H24	8.0 H24



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 道路等の基盤整備により、医療関係施設や大学学部校舎等が立地した。今後は生活利便施設等暮らしに役立つ機能も含めた土地利用を進める。 更なる雇用創出に向け産業団地の造成及び企業誘致に取り組み、産業拠点の形成を進める。 空港移転跡地のシンボルである「緑の軸線」等の緑地の整備を進め、周辺環境に調和した都市空間の形成を図る。 地区内道路の整備や交差点改良等により、交通ネットワークが強化されたが、広域におけるアクセス性向上に向け、引き続き交通体系の充実を図る。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも交通体系の充実に努め、新たな雇用創出につながる企業誘致や周辺環境に調和した土地利用の促進を図り、小倉南区の発展に寄与できるような魅力的なまちづくりに取り組む。 「くらし」「産業」「環境」の3つの柱を基にした広域拠点としての土地利用を促進させるため、門司区と小倉南区を結ぶ6号線等の整備を推進する。 曽根干潟と産業団地との緩衝機能となる環境保全地区の整備や市民の憩いの空間となるよう「緑の軸線」に桜の木を植える等、周辺環境に配慮した都市空間の形成を図る。